

△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。

ご使用にあたってのご注意（一部仕様の異なる器具があります。）

保存用

- ◆ 型番・製造年月は器具銘板に記載されています。ランプ（電球）の種類は器具のランプシールをご確認ください。交換用のランプは器具の指定のものを必ずご使用ください。

- ① 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。

感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

- ② 器具やランプ（電球）を布や紙等でおおわないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

- ③ 器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。

感電・故障の原因になります。

- ④ 点灯中および消灯直後は器具やランプ（電球）が高温になっていますので素手で触らないでください。

やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。

- ⑤ 器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

- ⑥ シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

変質・故障の原因になります。

- ⑦ 器具やランプ（電球）に着色等をしないでください。

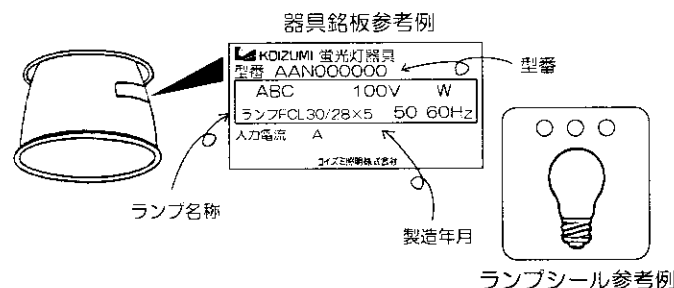
焼損・過熱・故障の原因になります。

- ⑧ 器具をまるごと水洗いしないでください。

感電・焼損・故障の原因になります。

- ⑨ ランプ交換の際、ランプホルダーやランプ支持パネを強く弾かないでください。

ランプの破損・けがの原因になります。



- ⑩ 多灯用器具は間引き点灯しないでください。

過大電流により、安定器の短寿命の原因になります。

- △ お手入れやランプ（電球）交換の際は必ず電源を切ってから行なってください。

通電のまま行なうと、感電の原因になります。

- △ 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

- △ ランプ（電球）交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数のランプをご使用ください。

間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

- △ 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。

感電・焼損・故障の原因になります。

- △ 点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具やランプ（電球）に損傷等がないかを確認してください。

異常がありましたら、購入店にご相談ください。

- △ ランプの端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めにランプ交換を行なってください。

照度のことを考慮しますと、経済的であると言えます。

- △ ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。

放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

KOIZUMI

自動照明センサスイッチ

型番 AEE550040 AEE550041 AEE550503



- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。
- 一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- 工事店様・電器店様へ…工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

保存用

■ 取付前に必ず確認してください

警告

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
- 火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
- 火災・焼損・やけどの原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
- 感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- 負荷は器具により異なります。指定容量以下でご使用ください。
- 火災・過熱・故障の原因になります。

注意

- この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁等には取付けできません。
- 落下・焼損・加熱の原因になります。
- 白熱灯用調光器（コントローラ）は使用できません。
- 器具や調光器の焼損・加熱・故障の原因になります。
- トランス内蔵の器具との組合せで使用しないでください。
- 器具やトランスの焼損・加熱・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
- 感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
- 間違えて器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定器等の短寿命および火災・過熱・故障の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示に従ってください。
- 守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 蛍光灯と組み合せご使用になる場合はランプ寿命を考慮して点灯時間設定はなるべく長時間の設定としてください。
- 短時間設定とし、頻繁に点滅を繰り返すとランプ短寿命の原因となります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

- 警告** 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.
- 注意** 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。
CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

コイズミ照明株式会社

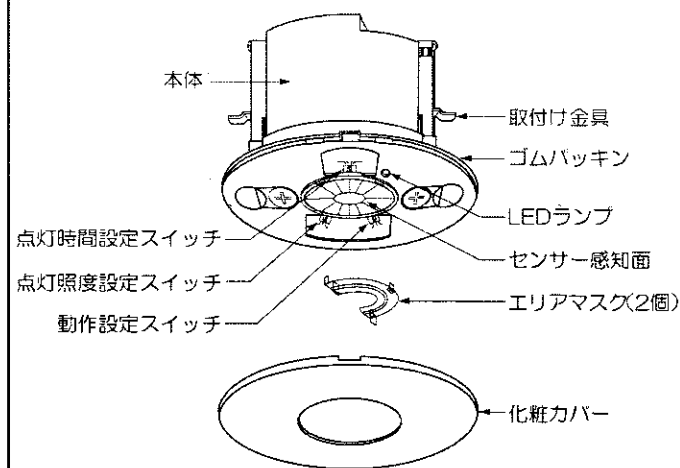
裏面も必ずお読みください。

M550503B-NM/S.T

このたびはコイズミ照明器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称(この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



型番 AEE550040 AEE550041 AEE550503

■取付けの際特に守ってください。

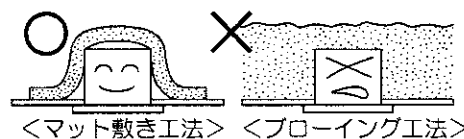
△ 天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁等には取付けないでください。

→落下・消損の原因になります。

△ マット敷き工法(住宅用人工造鉱物繊維断熱材JIS A 9521)で施工された天井に使用することができます。ブローイング工法(吹き込み用繊維質断熱材JIS A 9523)および特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。

→火災の原因になります。

外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。



△ 表示された電源電圧(定格電圧の±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。

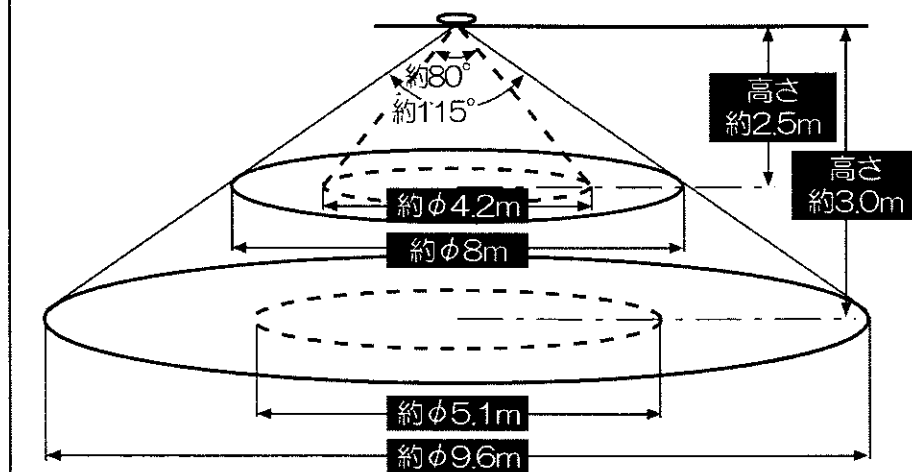
→火災・加熱及びランプの短寿命の原因になります。

△ 電気工事

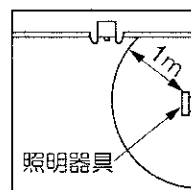
○素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

■感知エリア図

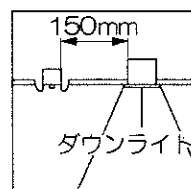
□ エリアカットマスクなし
□ エリアカットマスクあり



■設置上のご注意



※ 照明の光が直接センサに入る場合は、照明器具からセンサまでの距離を1m以上離してください。



※ ダウンライトの場合は、150mm以上離してください。
注) 天井面よりランプが下に飛び出しているダウンライトは1m以上離してください。

取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

■設定スイッチについて

ON・OFFタイプ

点灯時間設定スイッチ

感知エリアより人がいなくなつてから消灯するまでの時間が調節できます。

※ 蛍光灯と組み合わせご使用になる場合はランプ寿命を考慮して点灯時間設定はなるべく長時間の設定としてください。
→ 短時間設定とし、頻繁に点滅を繰り返すとランプ短寿命の原因となります。

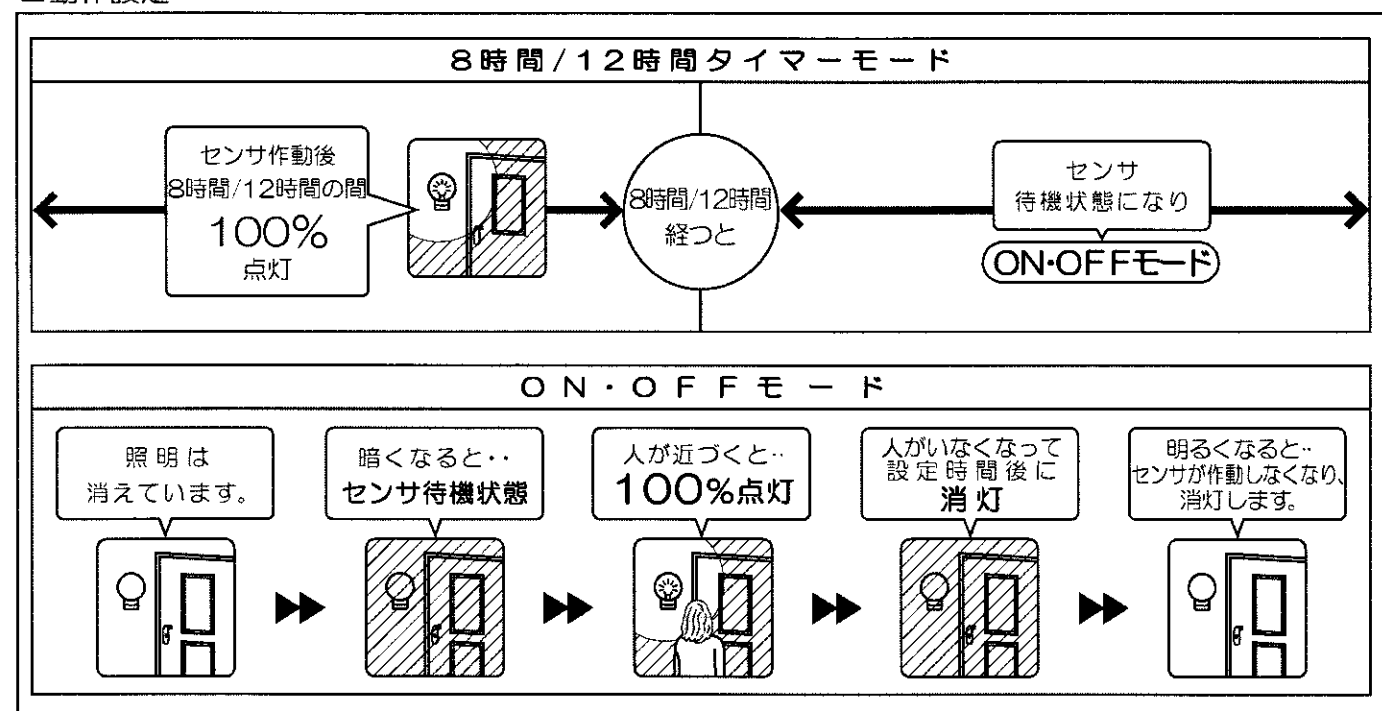
動作設定スイッチ 器具の点灯状態(モード)を設定します。

- ・12hタイマ: 暗くなってから全灯を12時間維持し、その後ON・OFFモードに切替わる設定です。
- ・8hタイマ: 暗くなってから全灯を8時間維持し、その後ON・OFFモードに切替わる設定です。
- ・ON・OFF: 暗くなってから人が近づくと自動点灯します。

点灯照度設定スイッチ 器具の動作する環境照度を設定します。

- ・暗: 周囲照度が約15lxのときに自動動作します。
- ・明: 周囲照度が約45lxのときに自動動作します。
- ・切: 周囲の明るさに関係なく、設定されたタイマーモード又はON・OFFモードの動作をします。

■動作設定



■連続点灯の操作方法

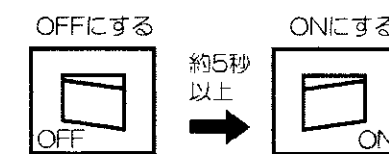
センサスイッチと電源の配線間に壁スイッチを設けられると連続点灯(連続点灯8時間維持)に切り替えることができます。

●連続点灯状態にする場合



壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯となります。

●本来の設定(本体側の設定)に戻す場合



壁スイッチをOFFにし、しばらく(約5秒以上)してからONにすると、約30秒点灯してから、設定モードになります。60秒間は点灯照度設定にかかわらず、人体感知の場合点灯します。

※ 連続点灯状態に切り替えた後、約8時間で本来の設定(本体側の設定)に戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF→ON)を行った場合、再度その時点から約8時間の連続点灯になります。

※ 連続点灯は周囲の明るさ・人体感知に関係なく点灯する状態です。

※ この機能を使用される場合は、壁スイッチを取り付けてご使用ください。壁スイッチを取付けない場合は、連続点灯に切り替えることはできません。

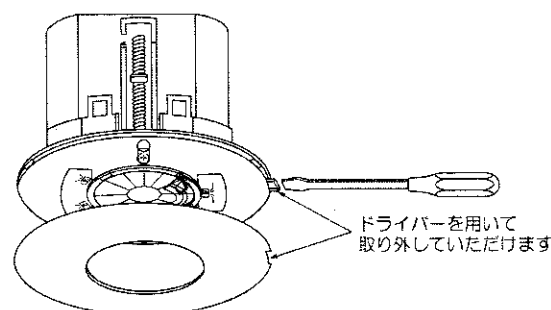
取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

■取付順序と操作方法

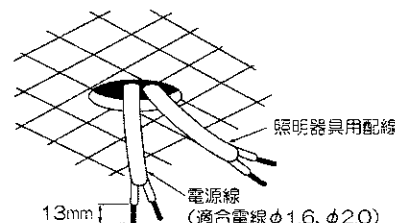
○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると、落下・けが・過熱の原因になります。

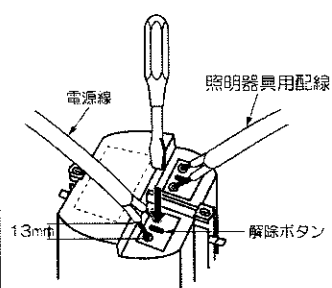
① 化粧カバーを外してください。



② 器具指定の埋込寸法穴(φ75)を天井にあけて電源線を引き出してください。



③ 電源線を接続端子に差し込んでください。はずす時は解除ボタンを押してください。

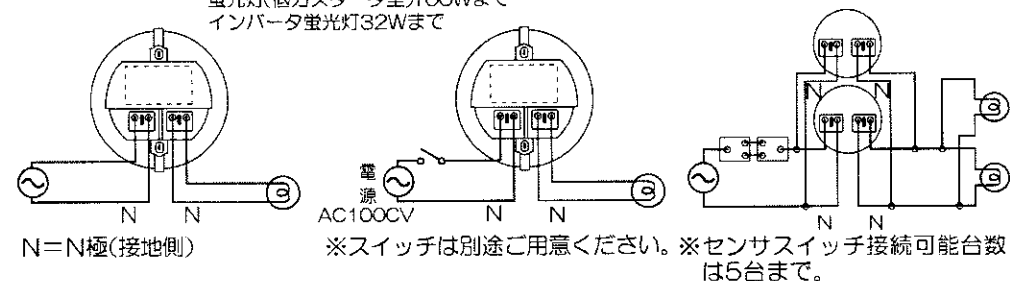


照明器具
白熱灯300Wまで
蛍光灯(低力スター型)100Wまで
インバータ蛍光灯32Wまで

＜スイッチ操作によりOFF、自動点灯および連続点灯の切替えをする場合＞

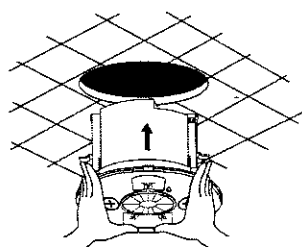
■配線サンプル

- ・照明器具2台
- ・2箇所感知
- ・3路スイッチでの2箇所切替

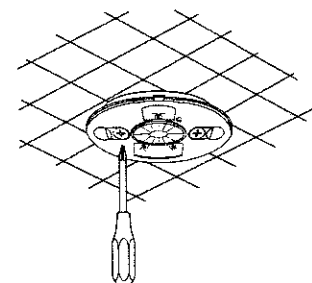


くれぐれも極性に注意してお使いください。誤った配線をされた場合、センサスイッチは故障します。

④ 器具を天井穴に入れ、水平に押し上げてください。



⑤ 下面のネジを天井材に接着感が感じられるまで締めつけてください。(電動ドライバーは用いないでください。)



⑥ 電源を入れて、点灯を確認してください。

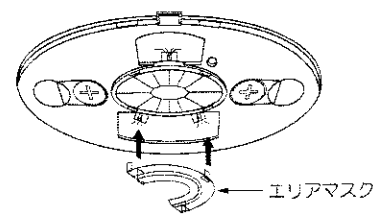


⑦ 感知動作、感知エリアをテスト確認してください。

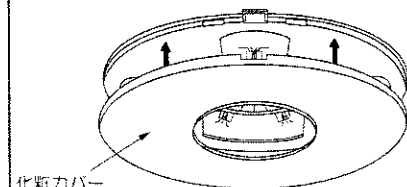
テストの際各スイッチは
・点灯時間設定スイッチ:10秒
・動作定スイッチ:ON・OFF
・点灯照度設定スイッチ:切
の設定としてください。

※人体を感知した時にはLEDランプが点滅します。正常に感知しているかを確認してください。

⑧ 感知範囲を狭くしたい場合はエリアマスクをお使いください。エリアマスクは感知範囲制限を行いたい方向に取り付けてください。



⑨ 化粧カバーをもとどおり取り付けてください。



取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

■器具のお手入れ

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。



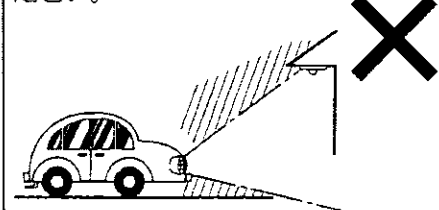
やけどの
おそれあり
点灯中や
消灯直後の
ランプに
さわるな

(1) 器具のお掃除

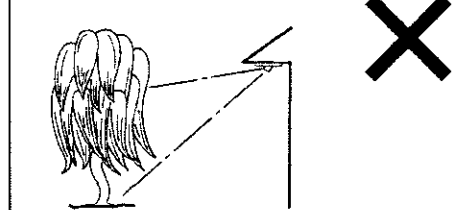
- ① 電源を切ってから行なってください。
- ② 乾いた柔らかい布等で器具の汚れを拭き取ってください。

■ご注意 (次のような場合では誤動作の原因となります。)

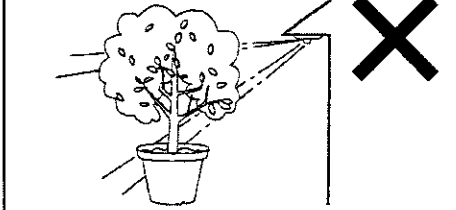
車のヘッドライト等、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けしないでください。



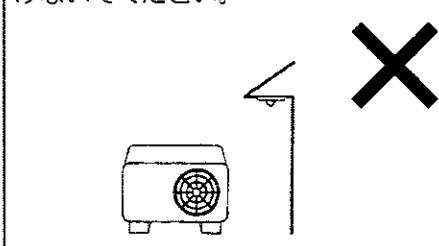
風等でよく振れる植物等がある場合には取付けしないでください。



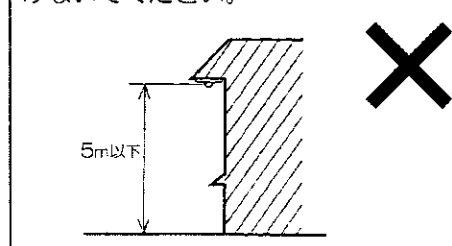
感知エリア内に障害物のある場合には取付けしないでください。



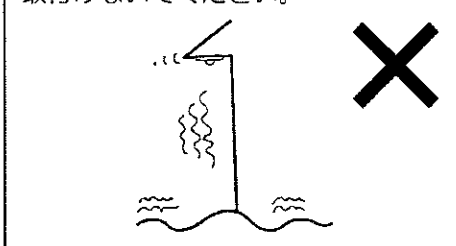
エアコンの吹き出し口の近くには取付けしないでください。



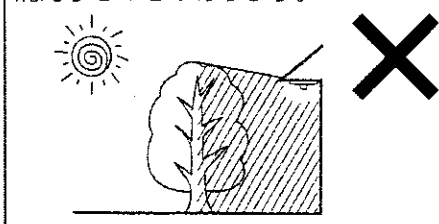
取付高さが5mをこえる場所には取付けしないでください。



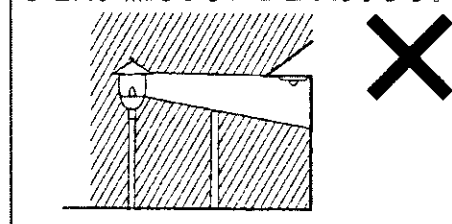
不安定な場所や振動の激しい場所には取付けしないでください。



昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下等)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。



夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がレンズにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。



- センサ感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、動作することがあります。
- ご使用中、太陽光線の強い光や高い熱、又無線等による電波障害で誤動作する場合があります。
- センサの感知エリアは、気象条件によりばらつきがあります。
- 器具の改造は絶対にしないでください。
- 調光器との併用はできません。